

大嶺小学校の校歌について

「大嶺小学校 校歌」(藤本竹雄・作詞)

- 1 高き高地を 姿とし (高き高地=現在の大嶺小学校は、昭和40年9月にそれまでの場所から、旧大嶺一中があったこの地にあった移転されました。それまでの大嶺小学校があった場所は、学校から美祿駅に行く道沿いにある旧藤田商店の角を曲がり、急坂を登りつめたところにありました。そう、今の「成進高等学校」です。坂の上にある学校は、やはり「高き校地」を姿としていたことでしょう。成進高等学校には、旧大嶺小学校の木造校舎が残っています。)

三千年の 伝統を (日本という国が約3千年の歴史をもつという歴史観によるものと思われまふ。美祿市立大嶺小学校ができたのが昭和29年=皇紀2614年にあたります。)

強くきたえつ 磨きなん (磨きなむ=磨くの強調「必ず磨こう」)

理想の大嶺 光るべし (光る可し=光るの確実な推量「きっと光るだろう」)

- 2 清き校舎を 心とし (「清い場所である校舎を自分が生きる上で大切なものとして考え」という感じでしょうか・・・)

民主日本の建設に

たゆまず (「おこたらず・油断せず・ゆるまず」)

うまず (倦まず=「いやにならず・あきることなく」)

いそしまん (勤しまん=「つとめはげもう」)

努力の大嶺 みのるべし (作詞された年が定かではありませんが、市制実施により美祿市立大嶺小学校ができたのが昭和29年で、校旗制定も同年なので、ほぼ同時期の詞と思われまふ。昭和27年のサンフランシスコ講話条約発効後、日本が民主主義国家建設に向けて努力している様子が伺えます。)

- 3 かのせんだんを (旧大嶺小にあった見上げるような大きなせんだんの木~運動場拡張の際、伐採~がモデルになっているようです。)

鏡とし (立派なせんだんをお手本・模範にして)

かおりゆかしく (心がひかれるような香りをもって)

のびゆきて (のびていき)

校旗にほまれ いざそえん (誉ある校旗のように)

希望の大嶺 かざるべし (希望ある大嶺を飾りましょう)



平成19年9月 文責：辻本